

平成28年12月27日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

エアコン（室外機）、除湿機に関する事故（リコール対象製品）について  
（詳細は次頁以降参照。）

- |  |    |
|--|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故<br>（うち石油ストーブ（開放式）1件、<br>屋外式ガス給湯暖房機（都市ガス用）1件、<br>開放式ガス温風暖房機（都市ガス用）1件、<br>石油ストーブ（半密閉式）1件、カセットこんろ1件） | 5件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因が疑われる事故<br>（うち温水洗浄便座1件、エアコン（室外機）1件、<br>除湿機1件）                                    | 3件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因か否かが特定できていない事故<br>（うちバッテリー（ニッケル水素、電動工具用）1件）                                      | 1件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）<br>において、審議を予定している案件<br>該当案件無し   |    |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会  
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

（管理番号：A201500500を除く。）

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

### (1) ダイキン工業株式会社が製造したエアコン（室外機）について（管理番号：A201600531）

#### ① 事故事象について

ダイキン工業株式会社（法人番号：8120001059660）が製造したエアコン（室外機）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

#### ② 当該製品のリコール（無償点検・改修）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、プリント基板のダイオードブリッジのはんだ接続部で、はんだ量が少なく、プリント基板と電装品箱の熱伸縮の差により、はんだ接続部に繰り返し応力が掛かり、はんだクラックが発生し、発煙・出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2004年（平成16年）10月18日にウェブサイトへの情報掲載、翌19日に新聞社告を行うとともに、継続的に新聞折込チラシやダイレクトメールの送付を行い、無償点検及び改修（プリント基板の交換又ははんだ盛りの追加等の対策）を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201600531）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

#### ③ 対象製品：機種・型式、製造番号、対象製造期間、対象台数

機種・型式	製造番号	対象製造期間	対象台数
AR2205X	4000101～4003200 5000101～5007200	1995年1月 ～ 1998年3月	9,950
AR228HDX	7000101～7008447		7,271
AR△△*6*	5000101～70*****		81,475
AR○○*7*	6000101～70*****		108,733
AR○○*8*	7000101～70*****		15,214
RA225G*	4000101～70*****		8,163
RA△△6*	5000101～70*****		107,914
RA○○7*	6000101～70*****		192,389
RA○○8*	7000101～70*****		55,864
RAJ△△8*	7000101～70*****		3,429
RAZ225*	4000101～70*****		21,007
RAZ△△6*	5000101～70*****		30,672
合 計			642,081

備考1. 対象機種の定格冷房能力は、2.2kW～3.2kW

備考2. 海外販売製品には、対象機種はありません。

注1. ○○は、22、25、28、32のいずれかの数字

注2. △△は、22、25、28のいずれかの数字

注3. \*印は、数字又はアルファベット

2004年（平成16年）10月18日からリコール（無償点検・改修）を実施  
改修率：53.5%（2016年11月30日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201600531）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中でリコール同事象と考えられるもの及びリコール事象かどうか不明なものを含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	2	火災	2012年度	2	火災
2015年度	1	火災	2011年度	0	—
2014年度	1	火災	2010年度	2	火災
2013年度	0	—			

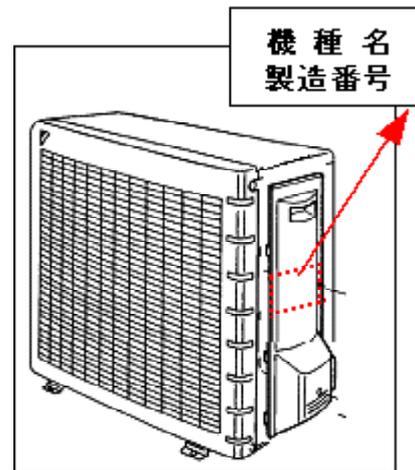
<対象製品の外観及び確認方法>

1) 対象製品の外観

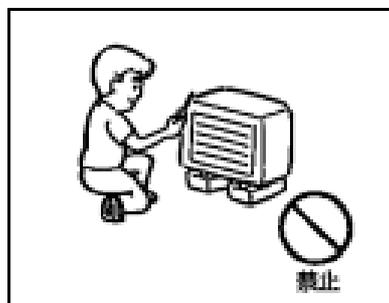


(写真はAR2205X)

2) 対象製品の確認方法



(注) 自身で工具を用いての製品の分解等は危険ですので、決してしないでください。製品に不具合がある場合には、事業者の問合せ先に御連絡ください。



(参考) リモコンの型番から対象製品を確認できる場合もあります。

リモコン型番	○に入る数字		対象製造期間
	対策が必要	調査が必要	
ARC408A○	10、13、20、30	14、15、24、25、28、29	1995年1月 ～ 1998年3月
ARC409A○	6、11	1、8、15、17、21	
ARC411A○	4、6、9	1、2、3、8	
ARC418A○	なし	1、2	
ARC402A○	なし	6	

備考1. 型番は、リモコン裏面に記載しています。

備考2. 「対策が必要」の項目に該当するリモコン型番の機種では、事業者による改修が必要となります。

備考3. 「調査が必要」の項目に該当するリモコン型番の機種では、改修が必要な場合がありますので、事業者による調査が必要となります。



注：写真のリモコンは、ARC408A10のリモコンであり、型番によって形状は異なります。

#### ④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

#### 【問合せ先】

ダイキン工業株式会社

電話番号：0120-330-696

受付時間：24時間受付

ウェブサイト：[http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2004/041019\\_r/index.html](http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2004/041019_r/index.html)

※同ウェブサイトから無償点検・修理の申込みも可能です。

(2) アイリスオーヤマ株式会社が輸入した除湿機について（管理番号：A201600537）

①事象について

美容室で、アイリスオーヤマ株式会社（法人番号：3370001006799）が輸入した除湿機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償点検・修理）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、転倒時オフスイッチの不具合により、当該スイッチが異常発熱し、発煙・発火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2016年（平成28年）8月24日にウェブサイトへ情報掲載を行うとともに、同日以降、顧客情報を保有している消費者へのダイレクトメール送付及び店頭告知を行い、無償点検及び修理を実施しています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201600537）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：製品名、品番、シリアルNo.、販売期間、対象台数

製品名	品番	シリアルNo.	販売期間	対象台数
除湿機（デシカント式）	EJD-70N	121200001	2013年1月	26,551
		～ 160299999	～ 2016年7月	

2016年（平成28年）8月24日からリコール（無償点検・修理）を実施  
改修率：24.8%（2016年12月25日時点）

<リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201600537）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故（原因調査中でリコール同事象と考えられるもの及びリコール事象かどうか不明なもの、並びにリコール開始の契機となった事故を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2016年度	2	火災	2012年度	0	—
2015年度	1	火災	2011年度	—	—
2014年度	0	—	2010年度	—	—
2013年度	0	—			

## <対象製品の的外観>



## <対象製品の確認方法>

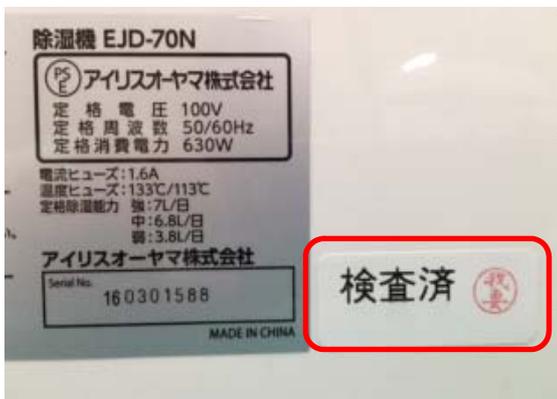
### 1) 対象製品

製品背面に貼られているシールで品番とシリアルNo.を御確認ください。  
品番がEJD-70NでシリアルNo.121200001～160299999のものが対象となります。



### 2) 対象外製品

品番とシリアルNo.が対象製品に該当するものであっても、シリアルNo.の脇に「検査済」のシールが貼られているものは既に点検・修理対応されているものです。



## ④ 使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検及び修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

**【問合せ先】**

アイリスオーヤマ株式会社 除湿機EJD-70N専用アイリスコール

電 話 番 号 : 0 8 0 0 - 2 2 2 - 8 9 8 9 (無料)

※携帯電話・PHSからも利用できます。

受 付 時 間 : 9 時 ~ 1 7 時 (月 ~ 金曜日)

9 時 ~ 1 2 時、1 3 時 ~ 1 7 時 (土・日・祝日)

※年末年始、夏季休業期間、事業者都合による休日は除く。

ウェブサイト : <http://www.irisohyama.co.jp/safetyinfo/ejd-70n.html>

**【本発表資料の問合せ先】**

消費者庁消費者安全課 (製品事故情報担当)

担 当 : 柳川、平野、清重

電 話 : 03-3507-9204 (直通)

F A X : 03-3507-9290

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当 : 下出、高橋

電 話 : 03-3501-1707 (直通)

F A X : 03-3501-2805

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別紙

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201600533	平成28年11月24日	平成28年12月21日	石油ストーブ(開放式)	RSV-23	株式会社ヨトミ	火災 死亡1名	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成28年12月14日
A201600534	平成28年12月10日	平成28年12月22日	屋外式ガス給湯暖房機(都市ガス用)	GTH-2417AWX6H-H(大阪ガス株式会社ブランド:型式135-1106)	株式会社ノーリツ(大阪ガス株式会社ブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	
A201600535	平成28年12月7日	平成28年12月22日	開放式ガス温風暖房機(都市ガス用)	GFH-3500S(大阪ガス株式会社ブランド:型式140-5573)	株式会社ノーリツ(大阪ガス株式会社ブランド)	火災 軽傷2名	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が火傷を負った。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	大阪府	平成28年12月22日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201600536	平成28年12月16日	平成28年12月22日	石油ストーブ(半密閉式)	HR-65B	株式会社ヨトミ	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201600538	平成28年12月16日	平成28年12月22日	カセットこんろ	AD-2300	株式会社アゲオ(現小池化学株式会社が事業承継)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	山口県	

## 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201500500	平成27年11月4日	平成27年11月13日	温水洗浄便座	DT-5823U	株式会社INAX(現株式会社LIXIL)	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。調査の結果、当該製品は、止水弁フタが酸化劣化によって樹脂強度が低下したことにより亀裂が生じ、亀裂から漏れた水が電磁弁端子部に掛かり、電磁弁端子間の抵抗値がトラッキング現象により低下し、コントロール基板のトライアックに過電流が流れて異常発熱し、発火に至ったものと推定される。	兵庫県	平成27年11月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201600531	平成28年12月17日	平成28年12月21日	エアコン(室外機)	RA287EX	ダイキン工業株式会社	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	埼玉県	製造から15年以上経過した製品 平成16年10月18日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:53.5%
A201600537	平成28年12月4日	平成28年12月22日	除湿機	EJD-70N	アイリスオーヤマ株式会社 (輸入事業者)	火災	美容室で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	平成28年8月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率:24.8%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201600532	平成28年10月16日	平成28年12月21日	バッテリー(ニッケル水素、電動工具用)	火災	当該製品を充電して置いていたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成28年12月16日

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

温水洗净便座（管理番号：A201500500）

